

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	消費者としてのリサイクル等実践事業(旧消費者バザー開催事業)	会計	一般会計	事業No.	85	施策順No.	56-001
		事業種別	政策・その他	予算科目	2-1-7-11-1		
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり			課等名	男女共同参画課		
施策	56 廃棄物の減量と適正処理			事業期間	開始	S55	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民(消費者)						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市の人口(人) (H21.10.1推計人口)	107259	106630	105691	105036	106000	
	意図	環境に配慮した消費を行う						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	環境学習参加人数				50	95	70	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		環境についての学習会を婦人会役員を対象に事前に行いその後改めて、環境についての講演会を開催したため参加者も多くなったと考える。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	資源循環型社会構築のために、ものを大切にすること、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進を実施する目的で、飯田市連合婦人会と共に、不用品交換会(リサイクルバザー)及び環境講演会を開催平成21年度まで実施してきた。平成22年開催より不用品の交換会は、当初の目的である3Rが一般的に推進されてきたこと、他団体でも多くの場所でバザーが行われていることから事業主体である婦人会では、リサイクル実践に関連する環境学習に重点を置いた活動にして行くこととした。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 環境学習会 学習会期日及び会場 平成22年11月18日 下久堅風の学舎	1 開催回数	1 1回
	2 環境講話 開催日及び会場・講師 平成23年2月7日 松尾公民館 NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師 平澤和人氏 演題「美しい郷土を未来へ」	2 参加者数	2 95人
23年度実施計画	環境学習会、講演会の開催 1 環境学習会 2 環境講話	1 開催回数 2 参加者数	1 1回 2 70人

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他	0			0	
一般財源	100	58	98			
計(A)	100	58	98			
正規職員所要時間		45				
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)		161				
トータルコスト A+B		219				

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> 冠婚葬祭等の引き出物を中心に不用品として交換してきたが、カタログで希望品を選択するようになり不用品が少なくなった。 若い世代を中心にリサイクルショップを利用することが一般的になってきているので参加者が伸びない。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	施策の成果指標又はムトス指標
	ゴミを少なくする 適正に処理・リサイクルされる	ゴミの収集量(家庭系一般廃棄物) 再資源化率(家庭系一般廃棄物)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り 後期に向けた課題	不用品のリサイクルを推進しものを大切にすることからバザーの開催を行ってきたが、昨年30回の開催を終え当初の目的を達成したとの判断からバザーは行わないこととした。 消費者としてごみの減量に繋がる環境について学習していく場を広げていく。
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り 後期に向けた課題	飯田市連合婦人会の活動一環として不用品のバザーを実施しごみの減量に努めた。また環境学習の機会ともし実践に役立ててきた。 今後も飯田市連合婦人会が中心となって取組むこととなるが、今後は消費者としてのごみ減量に繋がる環境学習といった捉え方とする。
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り 後期に向けた課題	リサイクルバザーは、飯田市連合婦人会が中心となり不用品の削減に努めた。環境講話の講師には、講演料が安価で効果の高い講師の選択に努めた。 今後も飯田市連合婦人会の活動として捉えていくが消費者としての環境学習といった方向とし地域で活動している講師の選定や学習の場を探りたい。
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り 後期に向けた課題	会場使用料と共催事業として負担金を飯田市が負担してきたが適切である。 今後婦人会員だけでなくリサイクルについて関心のある一般者の参加を呼びかけていく。
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り 後期に向けた課題	①飯田市連合婦人会が、定例の事業として取り上げ実施。 ②共催とし講師の選任及び会場使用料の負担を実施。 一般参加者のリサイクル、環境学習の場を広げていく
全体を通じて	4年間の振り返り 後期に向けた課題	飯田市連合婦人会が、積極的に事業参加し当初の目的が達成できた。 婦人会員だけでなく、消費者としての市民のリサイクル、ゴミの減量といった環境学習の場を広げていく

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--